

ヘーゲル

2019 年本試

問 4 ヘーゲルの歴史観についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

32

- ① 絶対精神は，歴史の発展過程において，道徳によって人間を外側から，法によって人間を内側から規制し，最終的に両者の対立を総合した人倫において，真の自由を実現する。
- ② 絶対精神は，自らの抱く理念を実現する過程において，理性の狡知を發揮して，自らの意図に沿うように人間を操り，歴史を動かしていくことで，真の自由を実現する。
- ③ 絶対精神は，歴史の発展過程において，人倫によって人間を外側から，道徳によって人間を内側から規制し，最終的に両者の対立を総合した法において，真の自由を実現する。
- ④ 絶対精神は，自らの抱く理念を実現する過程において，理性の狡知を發揮して，国家同士を争わせ，歴史を通してそうした対立状態を保ち続けることで，真の自由を実現する。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 4	32	②	3

2018 年本試

問 1 人倫という概念で道徳を捉え直した思想家にヘーゲルがいる。ヘーゲルの人倫についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

29

- ① 欲望の体系である市民社会のもとでは、自立した個人が自己の利益を自由に追求する経済活動が営まれるなかで、内面的な道徳も育まれるために、人倫の完成がもたらされる。
- ② 人間にとって客観的で外面的な規範である法と、主観的で内面的な規範である道徳は、対立する段階を経て、最終的には、法と道徳を共に活かす人倫のうちに総合される。
- ③ 国家によって定められる法は、人間の内面的な道徳と対立し、自立した個人の自由を妨げるものなので、国家のもとで人々が法の秩序に従うときには、人倫の喪失態が生じる。
- ④ 夫婦や親子など、自然な愛情によって結び付いた関係である家族のもとでは、国家や法の秩序のもとで失われた個人の自由と道徳が回復され、人倫の完成がもたらされる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 1	29	②	3

2017 年追試

問 7 次のア～ウは，共同体の拡大をめぐる，様々な思想家の考え方を説明したものであるが，それぞれ誰のものか。その組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。

7

ア 身近で自然な ^{きずな} 絆 によって結び付いた共同体は，独立した個人が競って各々の利益を追求する共同体へ，さらに，人々の絆と個人の独立性が統合された，より公共性の高い共同体へと拡大されていくと説いた。

イ 人間も，動物・植物・土壌・水などからなる生態系の構成員であるとする土地倫理を説き，人間だけで構成されてきた従来の共同体という概念を，自然の生態系全体にまで広げるべきであると説いた。

ウ 他者を排除する我々の傾向は根強く，共同体の枠を拡大しようとしても，それを全人類・全自然に広げることは難しい。この閉じた魂を解き放つには「愛の跳躍(躍動)」が必要であると説いた。

- | | | |
|------------|------------|---------|
| ① ア ヘーゲル | イ レオポルド | ウ ベルクソン |
| ② ア ヘーゲル | イ レオポルド | ウ ガタリ |
| ③ ア ヘーゲル | イ ベルンシュタイン | ウ ベルクソン |
| ④ ア ヘーゲル | イ ベルンシュタイン | ウ ガタリ |
| ⑤ ア สเปนサー | イ レオポルド | ウ ベルクソン |
| ⑥ ア สเปนサー | イ レオポルド | ウ ガタリ |
| ⑦ ア สเปนサー | イ ベルンシュタイン | ウ ベルクソン |
| ⑧ ア สเปนサー | イ ベルンシュタイン | ウ ガタリ |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 7	7	①	3

2016 年追試

問 6 精神についてのヘーゲルの考えとして最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 人間には，合理的な推論の能力である幾何学の精神と，直観的な判断の能力である繊細の精神がそなわっている。
- ② 精神は自由を本質とする。歴史は精神が自らの理想を実現する過程であるから，世界史は自由の意識の進歩そのものである。
- ③ 人間の社会は物質的な生産活動を基礎とし，精神活動はこの土台のうえで行われる。生産活動が精神を規定するのであり，その逆ではない。
- ④ 人間が求める快樂には，量的に計算できないものがあり，そのような精神的な快樂の方が，感覺的な快樂より質が高い。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 6	34	②	2

2015 年追試

問 5 ヘーゲルの弁証法の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

33

- ① 事象や行為の意味を、主観的な意識を超えた社会的・文化的なシステムとしての構造に注目することによって、解明しようとする思考法。
- ② 哲学的な問題を、何よりも言語と関わっているものと捉え、言語の働きとその限界の分析によって、解決しようとする思考法。
- ③ 矛盾を単なる誤りとするのではなく、すべての存在や認識は、対立や矛盾を通してより高次なものへと展開していく、とする思考法。
- ④ 真理の判定基準は、認識と実在との一致に求められるのではなく、生きるうえでの課題の解決へと行動を導く点にある、とする思考法。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 5	33	③	2

2012 年追試

問 3 近代的な国家や市民社会のあり方を説いた思想家ア～エとその思想についての記述 A～D の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

24

ア モンテスキュー イ ルソー ウ カント エ ヘーゲル

- A 自然な愛情によって結び付いた家族と、各自が利益を追求する市民社会とは、国家において統合され、真の自由が実現される。
- B 理想的な道徳的共同体を目指して、諸国家間においても、一切の敵意を終息させる努力をすべきである。
- C 国家権力を立法権、行政権、司法権に分けて、それぞれを独立した機関に担わせることで相互に権力を抑制させるべきである。
- D 公共の利益を求める普遍的な意志は人民自体のものであるから、人民に存する主権は譲渡も分割もできない。

- ① アーA イーB ウーC エーD
- ② アーA イーD ウーC エーB
- ③ アーB イーA ウーD エーC
- ④ アーB イーC ウーA エーD
- ⑤ アーC イーB ウーD エーA
- ⑥ アーC イーD ウーB エーA
- ⑦ アーD イーA ウーB エーC
- ⑧ アーD イーC ウーA エーB

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 3	24	⑥	3

2011 年追試

問 1 文章中の 23 に入る語句として正しいものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

フランス革命の諸局面では、個性豊かな人物たちが理想社会の実現を夢見て独自の役割を演じた。このことを、23 は、絶対精神が個人の情熱を利用しながら究極的な自由を目指して展開する実例と見て、「世界史は自由の意識の進歩である」と述べた。

- | | | | |
|----|---|--------|---------|
| 23 | { | ① ヘーゲル | ② ナポレオン |
| | | ③ ゲーテ | ④ ルソー |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 1	23	①	2

2009 年本試

問 1 文章中の に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

デカルトは、確信をもって人生を歩むために真偽を識別する新しい原理を探求し、哲学の第一原理となる「コギト（私は考える）」を探り当てた。いわば闇を照らす光である。この光としての理性の能力を吟味したカントは、現実の人間がいかに欲望に流されやすくとも、人間の意志は道徳法則を義務として受け止め、かつそれに従うるのであり、そこに理性的存在としての人間の自由があるとした。これに対してヘーゲルは、カントにおける理性と自由との関係がなお なものにとどまるとした。彼は歴史を精神の自己展開の過程と把握し、そこで精神の本質である自由が実現されると考えたのである。このように、西洋近代哲学において理性は、世界を光の王国につくりかえる自由の原理と考えられたのである。

- ① 具体的 ② 抽象的 ③ 客観的 ④ 現実的

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 1	22	②	2

2008 年本試

問 5 純粹な責務の道德論はカントの立場であるが、これを形式的であると批判して、倫理の具体的内容を重視したのがヘーゲルである。ヘーゲルによるカント批判として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 責務を担う主体は、この私自身であるから、道德は自己の実存に ^{かか}関わる真理の次元で具体的に考える必要がある。
- ② 責務を果たす手段は、物質的なものであるから、道德の具体的内容を精神のあり方から観念的に考えてはならない。
- ③ 責務を担う場面は、人間関係や社会制度と深く関わっているから、これらを通して道德を具体化せねばならない。
- ④ 責務を果たす目的は、人々の幸福の具体的な増大にあるから、道德的に重視すべきは行為の動機よりも結果である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 5	27	③	3

2008 年追試

問 4 ヘーゲルは市民社会の現実についてどのように考えたか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 市民社会では、人々の自立が十分には自覚されていないが、愛情によって結びついた共同性が成立する。
- ② 市民社会では、人々が自分の欲望充足を目指して行為するため、人々の間で利害をめぐる対立状況が成立する。
- ③ 市民社会では、人々が競争することによって生み出される経済的な不平等は解消され、万人の自由を実現する共同性が成立する。
- ④ 市民社会では、人々は欲望実現のために結びつくので、法律の強制によらずして互いの利益を尊重した調和が成立する。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 4	27	②	3

2007 年本試

問 5 人倫に関して、ヘーゲルの思想として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

27

- ① 婚姻は男女両性の間の法的な契約であるから、男女の愛情における本質的要素ではない。
- ② 市民社会は、法によって成り立つとしても、経済的には市民たちの欲望がうずまく無秩序状態である。
- ③ 国家は、市民社会的な個人の自立性と、家族がもつ共同性がともに生かされた共同体である。
- ④ 世界共和国のもとの永遠平和は、戦争はあってはならないという道徳的命命による努力目標である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 5	27	③	3

2006 年本試

問 1 現実世界の生成変化を捉えた論理を述べたものとして最も適切なものを、
次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① ロックの自然法 ② デカルトの演繹法
③ カントの仮言命法 ④ ヘーゲルの弁証法

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 1	22	④	2

2006 年追試

問 3 近代市民社会についてのヘーゲルの思想を示す記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

24

- ① 市民社会は，絶対王政下の社会と異なり，人類に普遍的な自然法によって支配されている。
- ② 市民社会は，自然法に基づいて抵抗権・革命権をもつ市民によって構成される。
- ③ 市民社会は，財産の私有に基づき，富者と貧者の間に支配と服従の関係をつくる。
- ④ 市民社会は，独立した個々人が各自の利害を追求する欲望の体系をなし
ている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 3	24	④	3

2005 年追試

問 6 ヘーゲルについての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

16

- ① 同情による親切な行為や習慣的行為などに道徳的価値を認めず，行為の結果よりも，行為の動機の純粹性が重要だと考えた。
- ② 人間の求める自由は，個人の良心的行為のみで実現されるものではなく，法と道徳との統一において実現すると考えた。
- ③ 労働者階級が議会で多数派を獲得することによって，少しずつ社会主義への発展を目指すという穏健な社会改革を考えた。
- ④ 国家は自由な活動を抑制するものであってはならず，その主な役割は個人の自由を侵すような犯罪から個人を守ることであると考えた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	16	②	3

2003 年本試

問 4 19 世紀以降の西洋の思想家，ヘーゲルの見解として最も適当なものを，次の①～⑥のうちから一つ選べ。

13

- ① 各人の多様な個性の発展は，社会が不断に進歩していくためにも重要であるから，個人の自由に対する社会的制約は，他者に危害が及ぶ場合に限りられるべきである。
- ② 世界の歴史とは，精神が人間の活動を媒介として，自らの本質である自由を自覚し実現していく必然的な進歩の過程である。この過程で自由な人間が次第に増えてくる。
- ③ 近代から現代までの西洋社会を振り返ってみると，文明の進歩は，私たち人類を真に人間らしい状態にではなく，むしろ新たな野蛮状態へ導いたと言わざるをえない。つまり進歩が退歩に逆転したのである。
- ④ 人間の精神は神学的，形而上学的，実証的という三段階を必ず通って進歩する。それに対応して，人間の社会もまた軍事的，法律的，産業的という三段階を通して進歩する。
- ⑤ 有機体の進歩が同質的なものから異質的なものへの変化であることに議論の余地はないが，このような変化は文明全体の歴史のうちにも各国民の歴史のうちにもひとしく見られる。
- ⑥ 停滞する未開社会と進歩する文明社会へと世界を二分し，後者が前者を支配し克服すべきだという従来のは西洋中心主義に基づく誤りである。未開社会の野生の思考と文明社会の科学的思考との間に価値の差はない。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	13	②	2

2003 年追試

問 6 後の西洋思想に大きな影響を与えたカントの思想は、様々な思想家から批判も受けた。次のア～ウの批判を行った思想家として最も適当な人物を、下の①～⑧のうちからそれぞれ一つずつ選べ。アについては に、イについては に、ウについては に答えよ。

ア 道德の問題は、対話的理性に基づく共同討議によって論じられるべきだが、カントの場合、合意という要素が考慮されていない。

イ 知性を行動の道具と見なす立場からすると、道德の場合も行動の結果を評価すべきなのに、カントは動機よの良さだけを重視している。

ウ 道德は、法律や制度という形で社会の中に具体的な 拠より所をもつべきだが、カントの道德は個人の内面にのみ委ねられている。

- ① ヘーゲル ② ゲーテ ③ フロイト ④ デューイ
⑤ ニーチェ ⑥ マルクス ⑦ ハーバーマス ⑧ ベンサム

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	17	⑦	2
第 2 問	問 6	18	④	2
第 2 問	問 6	19	①	2

2002 年本試

問 4 社会契約説は国家や社会についての代表的な理論の一つであるが、西洋ではそのほかにも様々な国家論，社会論が説かれてきた。次のア～ウの思想を唱えた人物として最も適当なものを，下の①～⑧のうちからそれぞれ一つずつ選べ。アについては に，イについては に，ウについては に答えよ。

ア 家族と市民社会を総合し，欲望の体系である市民社会を克服するのが国家であり，そこにおいて共同体の普遍性と個人の個別性が保持される。

イ 理想的な国家を実現するためには，哲学者が統治者になるか，あるいは統治者が哲学者になる必要がある。

ウ 個人が自己の利益を自由に追求することで社会全体が豊かになるのだから，国家の重要な役割は個人が自由に獲得した財産を保護することにある。

- ① プラトン ② アリストテレス ③ ロック
④ ルソー ⑤ アダム・スミス ⑥ カント
⑦ ヘーゲル ⑧ マルクス

問 7 ヘーゲル， J. S. ミル， マズローの思想を説明する記述として最も適当なものを，次のア～エから選び，その組合せを下の①～⑩のうちから一つ選べ。

ア 自己実現の欲求という最高次の欲求は，階層構造をなす生理的欲求，安全欲求，所属と愛の欲求，承認欲求が順次すべて満たされたとき達成される。

イ 画家がキャンバスに描きたいものを描き，そこに自らの才能や思想を見いだすように，人間は自分の考えを具体化することによって自己を実現す

る。

ウ 自己実現は、こころの全体性の二つの要素である「意識」と「無意識」とが相互に補償し合うことによって、達成される。

エ 「満足した豚であるより、不満足な人間であるほうがよい」のは、精神的快樂のような高次の快樂の追求が人間の幸福に不可欠な要素だからである。

	ヘーゲル	J. S. ミル	マズロー
①	ア	イ	エ
②	イ	ウ	ア
③	ウ	エ	イ
④	エ	ア	ウ
⑤	ア	ウ	エ
⑥	イ	エ	ア
⑦	ウ	ア	イ
⑧	エ	イ	ウ
⑨	ア	エ	ウ
⑩	ウ	イ	ア

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第2問	問4	15	⑦	2
第2問	問4	16	①	2
第2問	問4	17	⑤	2
第4問	問7	36	⑥	3

2002 年追試

問 5 社会における良心の地位に関するヘーゲルの見解として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① 道徳や宗教における内なる良心の自由は自然権の一つであり、いかなる政治社会にあっても、それは侵害されてはならない。
- ② 自己の良心にもとづいて信仰するかぎり、あらゆる個人は、社会における身分とは関係なく、神の前で平等である。
- ③ 道徳は社会の経済的な土台の上に成立するものであり、個人の良心は、その個人が置かれた社会的な状況に制約されている。
- ④ 良心にかかわる内的で主観的な道徳と、所有や契約を扱う外的で客観的な法は、具体的な人倫において統合される。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	14	④	3